

交流留学月例報告書[3月分]

留学先：アメリカ | フィンドレー大学

松岡美羽

この留学生活も残り少なくなってきましたが、まだまだ日本には帰りたくないです。3月も様々なイベントや出来事がありました。

3月の初めはインターナショナルナイトという、インターナショナルの生徒が母国のパフォーマンスをしたり母国料理を提供する文化祭のようなイベントが行われました。私たちは、焼きおにぎり、味噌汁、みたらし団子を作って提供しました。ステージで行われるパフォーマンスでは、私たち日本人はオタ芸を披露しました。オタ芸は2月ごろから週に何度か集まって練習をして自分たちで振りも考えたりして準備しました。私はオタ芸の他にも、他国の留学生も含めたバンドを組んで歌も披露しました。他国の料理や文化を経験できるとても楽しいイベントでした。



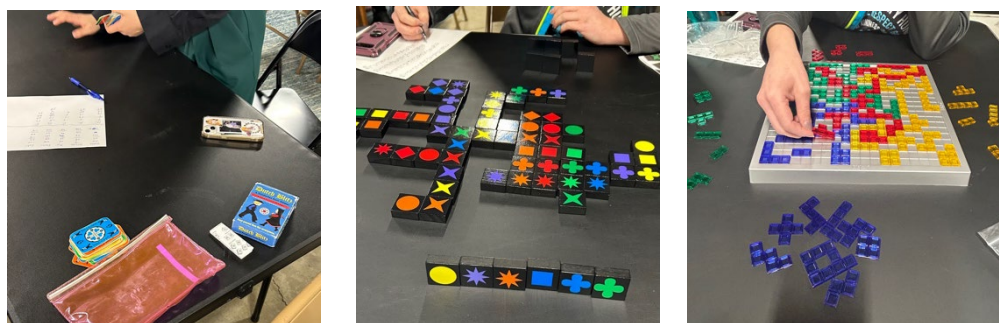
3月半ばにこのアメリカ生活の中で初めてトルネードを経験しました。食堂でディナーを食べていたら急に全員のスマホから避難警報が鳴って、トルネードが来るという警告が出されました。食事の途中でしたが、地下に避難しなければならないということで、私たちは幸いにもキャンパス内で地下を持っている家に住んでいるアメリカ人の友達が連絡をくれてその子のシェアハウスの地下に避難することができました。基本的にアメリカの家は地下を持つ家がほとんどのようで、私たちが住んでいるシェアハウスにも地下があります。一時間ほど避難していましたが、トルネードは私たちの地域に来る前に消えたので直撃することはありませんでした。私たち日本人は日本でトルネードを経験することがほとんどないのでどれほど危険なものか把握できていませんでしたが、今回貴重な経験をしたなと思いました。



私は今期英語の授業のほかにアートの授業をとっています。この授業では講義のほかに定期的にアートワークのアクティビティがあり、出されたお題に沿って各自作品を作り提出する課題などが出ます。行うアートワークの種類が豊富で新しい経験に触れることもできて、先生もとても優しいので楽しくて好きな授業です。写真は私がアートワークで提出した作品の一部です。



3/29-4/1 にかけてはイースターブレイクでした。1日目は、教会に通っている友達が教会で出会ったアンジェーナという友が日本人を家に招待してくれてゲームナイトをしました。アメリカに来てから新たに学んだことは、アメリカ人は友達と遊ぶ時テレビゲームではなく、カードゲームやボードゲームで遊ぶのが主流だということです。アンジェリーナの家は特にたくさんのゲームがありました。ディナーもご馳走になり、ゲームもとても楽しかったです。



2日目は韓国焼肉料理のお店とボードゲームカフェをしに友達とコロンバスまで行きました。日本にはあまりないですがボードゲームカフェに初めて行きました。カードゲームやボードゲームの種類が豊富でとても楽しめる場所でした。アメリカでボードゲームをたくさん経験して、日本に帰ってアメリカでやって楽しかったものを買いたいと思います。



3日目は教会で出会った友達であるデイリーンが家にイースターのランチに招待してくれました。以前にも何度か招待をしてもらったことがあり、彼女は毎回全て手作りのご飯で私たちをもてなしてくれます。パンやケーキなどのデザートですら手作りで全て美味しく毎回感動します。クリスチャンの人々にとってイースターはクリスマスよりも大事な行事だということを教えてもらってとても驚きました。



この留学生活がもうあと残り1ヶ月となってしまいました。たくさんの友達がたくさん遊びに誘ってくれたりするので毎週毎週暇することなく楽しい予定があり、本当に毎日充実した留学生活を送って来たなと振り返ってみて改めて実感しています。アメリカで仲の良い友達もたくさん作れて、今までもそうでしたが最近は特に帰国が近づくに連れて、本当にここの友達と離れて日本に帰国するのが嫌だなあと日々考えてしまいます。残り少ない留学生活、帰国した後に後悔しないように精一杯楽しみたいです。